

展示案内



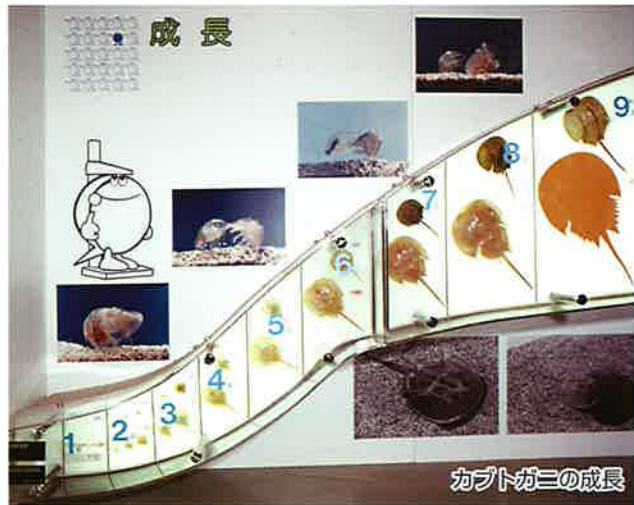
カブトガニ水槽

展示室の中で生きたカブトガニが間近に観察できるように、大型水槽を設けています。水槽の中では、カブトガニの成体を観察することができます。

つがいで行動するカブトガニの成体

生きている化石コーナー

生きている化石コーナーでは、8種類の生きている化石動物が、現存種と化石種に分けて展示されています。特にカブトガニ化石は、ドイツのズルンホーフェンから発見された保存度の高いもので、這い跡までもがきれいに残されています。



カブトガニの成長



約1億5000万年前のカブトガニ化石

カブトガニの成長

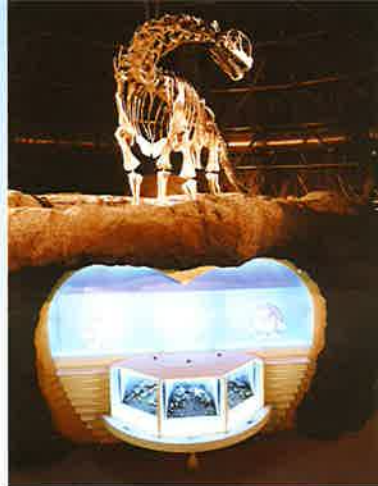
カブトガニは孵化後、何回くらい脱皮をし、成体になるのかわかっていません。現在のところ、雄については15回の脱皮をして13年目に、雌は16回の脱皮をして14年目に成体になると推定されています

動く・吼えるバリオニクス

2階には、恐竜バリオニクスが展示されています。この恐竜は、世界で初めて魚を食べたことが分かっています。もしかするとカブトガニも食べていたかもしれません。



バリオニクス



カブトガニシアター

カブトガニシアター

シアターには、80人が座れる客席が設けてあり、カブトガニをテーマとした映像を大スクリーンで見ることができます。また各客席にはQ&Aのスイッチが設備されていますので、クイズを通して映像と対話することもできます。

●放送時間のご案内

カブトガニシアター	9:00~9:15、9:30~9:45、10:40~10:55、11:00~11:15、11:30~11:45、12:00~12:15、12:30~12:45、13:00~13:15、13:30~13:45、14:40~14:55、15:00~15:15、15:30~15:45、16:00~16:15、16:30~16:45
地球の主カブトガニ	10:00~10:34、14:00~14:34

タイノスロープ

中生代を代表する様々な恐竜の展示コーナーです。カブトガニは、この時代を生き抜きますが、恐竜たちは、絶滅し、今日、化石でしか見ることはできません。



タイノスロープ

飼育展示室

カブトガニ博物館では、天然記念物カブトガニ繁殖地内のカブトガニを保護、増殖するために人工飼育と幼生の放流を行なっています。飼育展示室では、人工飼育の状況やかわいいカブトガニの幼生を間近に見ることができます。



飼育展示室



ティラノサウルス



イグアノドン

恐竜公園

恐竜公園には、カブトガニと同時代に生きていた恐竜などの復元模型が7種8体展示されています。これらの模型は、全て実物大であり、学術監修を受けた精度の高いものです。新アスレチック広場もあります。